

平成30年度（2018年度）第2回池田市図書館協議会会議録要録

日時：平成30年6月24日（日）午前10時～12時10分

場所：池田市立図書館2階会議室

出席者：（委員）石田会長、齋藤副会長、牛嶋委員、平井委員、藤原委員
彭委員、井谷委員、佐藤委員、山田委員、伊東委員
（事務局）齋藤教育部長、田上教育部次長、南図書館長、杉本石橋プラザ館長、
他職員2名

欠席：（委員）なし

傍聴者：1名

議 題

図書館の管理運営のあり方について

<資料>

- ・ 前回の振り返り
- ・ 池田市立図書館の管理運営のあり方について（答申（案））

【事務局より先日の地震被害について報告】

会 長：事務局より前回の会議の振り返りと答申に向けてのスケジュールについて説明をお願いします。

事務局：スケジュールの確認ですが、本日は答申（案）の確認、審議を行い、本日の審議を盛り込んだ修正案を佐藤委員と会長、事務局とで調整し、順調にいけば9月に答申確定、予備として10月を予定しております。

会 長：佐藤委員には大変な重責を担っていただいておりますが、今回は答申に盛り込む内容及び骨子（案）についてまとめていただきました。本日は、前回の審議に基づいて修正したものについて、佐藤委員より説明していただいた後、その内容について審議していきたいと考えております。

【池田市立図書館の管理運営のあり方について（案）パワーポイントにて説明】

会 長：前回の修正案を説明いただきました。提言の主要となるのはどの部分になりますか。

委員：3つの基本理念と4つの提言、4つのお願いと今は考えています。

会長：提言の後に4つのお願いとありますが？

委員：今まで築き上げた図書館とボランティアとの関係や人との繋がりを維持してほしいといったお願いの部分です。

会長：理念があって、実現する為に提言、お願いがあるということですか。

委員：3つのお願いと4つの提言にまとめた方がわかりやすいので整理したいと思います。

会長：「お願い」を提言としてまとめることはできないでしょうか。

委員：お願い事項と提言は違うものと考えていますが、表現方法を考えたいと思います。

委員：今後の課題の所ですが、駅前への本館移転を望むのであれば、再開発計画があれば盛り込んでもらうというのでは10年単位の話になってしまいますので、今ある共同利用施設などを利用する方が、早期実現につながるのではないのでしょうか。

会長：図書館の耐震はどうなっていますか。

事務局：耐震の診断もまだ行っていない状況です。学校優先で耐震工事が進み、学校は終了しましたので、今後順番に社会教育施設の診断及び工事を行う予定です。

委員：駅前等の利便性の良い場所への移転は、課題というよりは、協議会からの要望になるのでは？

委員：「翔べ、丘の上の図書館」における提言4について現時点で実現できていないのは、喫茶コーナーの設置ですが、今回の答申にも盛り込んでいきたいです。

委員：今回の提言では、ひとつは、学校司書や地域ボランティアとの良好な関係維持、二つ目に池田駅前などへの利便性の高い場所への本館移転、その中で現在実現出来ていない、喫茶コーナーの併設や民間と連携した複合施設の実現を盛り込み、三つ目に防災防犯の観点から、安心して利用できる図書館の実現を掲げたいと考えています。

委員：提案1の中で、プログラミング教育、アクティブラーニング等の用語が出ていますが、聞きなれない言葉が一人歩きしてしまわないように注意が必要かと思われます。

委員：教育指導要領に沿って表現は一致させたほうが良いですね。図書館がこれらの教育に対する支援をどう行っていくかが課題ですね。

委員：専門用語については、定義を注釈に入れてまとめてみます。

委員：提案3の市民の生活・ビジネス課題解決、資産運用、起業の支援は、今までの提言にはなかった観点で新鮮ですね。図書館が情報提供することによって池田の経済の活性化に繋がれば良いと思います。

委員：提案2の中・高校生の利用拡大については以前から問題視されてはいるものの難しい課題ですね。みんな塾に行っている世代なので、この問題はなかなか解消されないと思います。

委員：本日の審議内容を整理して反映した修正案を作成いたします。

事務局：修正案については、メールで各委員に事務局よりお送りしますので、ご意見等がありましたら、ご返信ください。

会長：それでは本日の審議をおわります。